

第7回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会

2016年6月11日(土)～12日(日)

@浅草ビューホテル、台東区立浅草公会堂、台東区民会館、東京都立産業貿易センター台東館

プレコングレスワークショップ 15	
企画名	心不全再入院ゼロ作戦 ～在宅療養支援プログラムの導入～
日時	2016年6月10日(金) 17:10～18:40
会場	第9会場 (台東区民会館 8階 第5会議室)
企画責任者	國近英樹 (済生会山口総合病院)
定員	36名
開催の目的・概要	
<p><b>【開催の目的】</b></p> <p>再発リスクが極めて高いとされる慢性心不全を抱えながらも、より良い生活を過ごせるように QOL を重視したケア提供の重要性と、患者さんとその家族を中心とした包括的管理が今求められています。慢性心不全の増悪予防には、患者個々の特性を把握し、患者生活の中で適切なケアと支援方針を選択することが重要となります。</p> <p>本ワークショップでは、多職種でのチームアプローチによる心不全ケアの充実を図るために必要な知識の整理と、“心不全再入院ゼロ作戦” を実行する地域のリーダーの必要性を共有認識し、輩出することを目標とします。</p>	
<p><b>【概要】</b></p> <p>最初に慢性心不全患者の包括的ケアのための急性期病院から在宅医療への移行時のポイントを分かりやすく解説します。次に在宅での療養生活支援の際に確認する重要項目やセルフモニタリングの意味、増悪時の対処法などをディスカッション形式により参加者と一緒に確認し、新しい心不全増悪予防支援プログラムを構築します。さらに地域包括ケア確立に向けた課題を話し合いながら、地域リーダーに何が求められるのかを含め、最終的に以下の心不全の包括的管理への理解と取り組みを共有することを目標とします。</p>	
<ol style="list-style-type: none"><li>① 多角的アプローチ</li><li>② セルフケアや心不全増悪時の対処法などの患者・家族への教育やサポート</li><li>③ 薬物療法の最適化と運動療法</li><li>④ 退院後の十分かつ頻回なフォローアップ</li><li>⑤ 医療専門職との密接な連絡とケアの連携・統合</li><li>⑥ 栄養と精神ケアのサポートとデコンディショニングの予防</li><li>⑦ 心不全再増悪時の症状・徴候の早期発見</li><li>⑧ アドバンス・ケア・プランニング など</li></ol>	
在宅療養生活の視点で、心不全予防のために地域で明日から実践できるプログラムやおさえるべき重要ポイントを、具体的事例を通して構築します	